



変わり種自転車お目見え

ワンちゃんに乗ったよ サイクルフェスティバル

主な内容

ポイ捨て禁止マーク決まる……………2
特集 身近な地域作業所・生活ホーム……………4
クリスマス・お正月準備……………8

11月11日、酒匂川左岸サイクリング場で、変わり種自転車で遊ぶ「サイクルフェスティバル」が開かれました。
会場に集まった市内の小学校1～3年生200人は、真新しいパンダサイクル、恐竜サイクル、サイドカーサイクルや3人乗り、4人乗りの自転車に乗り、秋晴れのもと、広々としたサイクリング場を元気に走り回っていました。
この日用意された変わり種自転車19台は、日本自転車普及協会からサイクリング場を設置した小田原市公益事業協会へ贈られたもので、今までの自転車同様、サイクリング場で貸し出します。貸し出し時間は、月曜日から金曜日と第1・第3土曜日が午後1時から4時まで、休日と第2・第4土曜日が午前10時から午後4時までです。
●問い合わせ 酒匂川左岸サイクリング場自転車貸出所 ☎476743

防災対策・産業振興をよろしく

西湘地域首長懇談会

県知事・副知事と小田原市・足柄下郡3町の首長が一堂に会して「西湘地域首長懇談会」が11月17日に市役所で開かれました。冒頭、岡崎知事から県の総合計画策定と地域防災計画見直しの話があり、これを受けて、県と市・町がお互いに緊密な連絡を取り合うことを確認しました。この席で小澤市長は、地震防災対策、産業振興、土地利用規制の緩和、道路網の整備など、小田原市の現状と県への要望を伝えました。



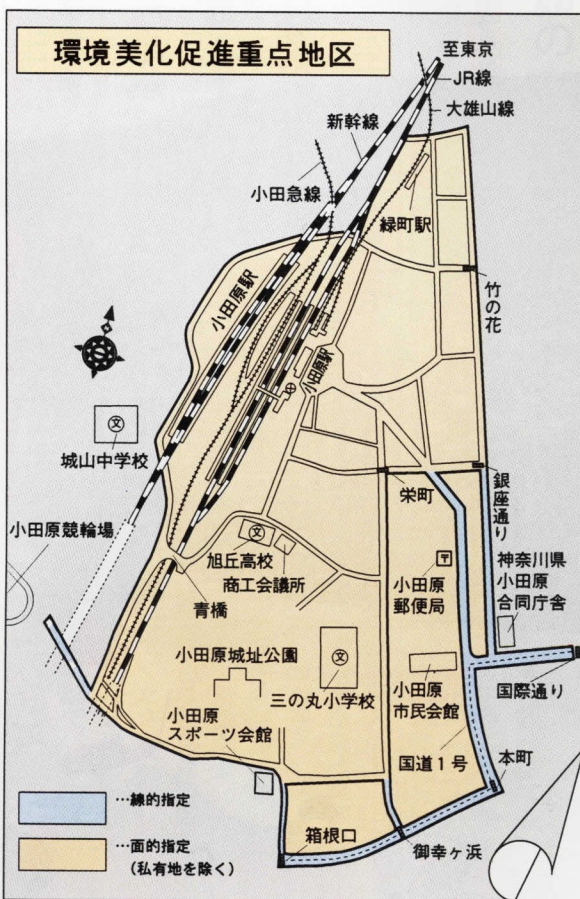
奥中央：岡崎県知事 右：山下副知事 左：飯田副知事
手前左：小澤市長

小田原は今、環境元年

豊かな環境を次世代へ



私たちのまちの恵み豊かな環境を、子や孫へ伝えたい。そんな願いから、今年4月、環境づくりのための条例ができました。そのうちの「小田原市まちをきれいにする条例」に基づいて、環境美化促進重点地区が決まりました。



「小田原市まちをきれいにする条例」では、この環境美化促進地区で「ポイ捨て」をすると、2万円以下の罰金の対象になります。市民だけでなく、観光で訪れた人も条例の対象になります。この地区では、「ポイ捨て」をなくするため、キャンペーンやパトロール、清掃活動を積極的に進めています。



みんなのまちは、みんなできれいに

罰則で人を規制するのはとてもいやなこと。それでも、環境の条例に罰則を設けたのは、「環境問題への取り組みは、今を生きる人の責務である。和を乱す人へは強い態度で接する」

ご存知ですか児童手当

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます(請求の翌月分から支給対象)。所得制限がありますので、平成6年中の収入が一定の額以上の方には支給されません。

申請手続き

受給資格のある方は、市役所児童福祉課(窓口12番)または、支所・連絡所で手続きをしてください。公務員は、直接勤務先で手続きをしてください。

必要なもの

印鑑・口座番号(申請者名義のもの・郵便局を除く)・年

12月11日～20日

年末の交通事故防止運動

ゆく年くる年 みんな笑顔で交通安全

忘年会などお酒を飲む機会が増える時期です。

「飲んだら乗るな 乗るなら飲むな、飲酒運転は絶対にやめましょう。」

運動の重点

- ① 飲酒運転の追放
- ② 子供と高齢者の事故防止
- ③ シートベルトの着用の徹底
- ④ 違法駐車等の追放

問い合わせ 市民生活課 ☎ 1853

「ポイ捨てはいけない」という当たり前のことを、このマークを見たら思い出してください。

問い合わせ 環境総務課 ☎ 1471

みんなで走ろう 尊徳の道 小田原尊徳マラソン大会



小田原尊徳マラソン大会の参加者を募集します。

● 期日 平成8年3月3日

● 種目 5km・10km・20km

● 種別 男子・女子・年齢別(29歳以下・30～40歳代・50歳以上など)

● 日程 受付 午前7時10分～8時40分、開会式 8時30分(城山陸上競技場)、スタート 5km 11時・10km 20km 11時5分

● 定員 2000人(種目・種別にかかわらず先着順で定員になり次第締め切り)

● 申し込み・問い合わせ 尊徳マラソン大会実行委員会事務局(〒250小田原市城山2-29-1城山陸上競技場内) ☎ 0343・225458・FAX 225752

● 参加料 1人3000円

● 申し込み 12月20日(水)1月31日(水)に、所定の用紙に必要事項を書いて、参加料を添えて直接か、郵便振替または現金書留でお申し込みください(別添郵便払込票による申し込みもできます)。

● 申し込み・問い合わせ 尊徳マラソン大会実行委員会事務局(〒250小田原市城山2-29-1城山陸上競技場内) ☎ 0343・225458・FAX 225752

交通安全ポスター入賞作品を展示



小田原市長賞受賞・近藤乃梨子さん(桐宮中2年)の作品

「年末の交通事故防止運動」の一として、交通安全ポスターコンクールの入賞作品を展示します。

● 日時 12月11日(月)～20日

● 会場 市役所2階ロビー

● 問い合わせ 市民生活課 ☎ 1851

酒匂川の浄化にご協力を

安心して飲める 小田原の水

小田原は、昔から豊富できれいな水に恵まれ、きました。しかし、最近、酒匂川流域の都市化の影響などにより、水の汚れが目立つようになり、特に昨年のような猛暑に加え異常渇水のときには、



水の中の汚れの成分と水道水の消毒剤である塩素とが反応してトリハロメタンが発生しやすい状態になります。水道水は、水道法によって水質基準が定められており、常に厳しい監視が行われています。昨年は、水道水

の一部でトリハロメタン濃度が一時的に1あたり0・0858mgという、水質基準を0・1mgを下回るもののその70%を超える数値になりました。その後は、塩素注入方法の改善に取り組み、濃度を低く抑さえ、安全な水をお届けしています。

水道局では、これからも浄水施設の研究と改善を行い、安全でおいしい水をお届けしていきます。市民の皆さんも私たちの水道の源である酒匂川の浄化にご協力ください。

＊トリハロメタン

有機物を含んだ水に塩素を混ぜることなどにより生成され、発ガン性を持つていると言われていますが、3〜5分間沸かすとほとんどなくなります。

●問い合わせ 水道局浄水課
☎④1245

12月4日〜10日

人権週間

(氏名・住所・電話番号の順、敬称略)

- 小林多美子(城山2-22-18) ☎④5673
- 和田 武(小八幡3-18-7) ☎④3412
- 雨宮秀雄(板橋763-36) ☎④1551



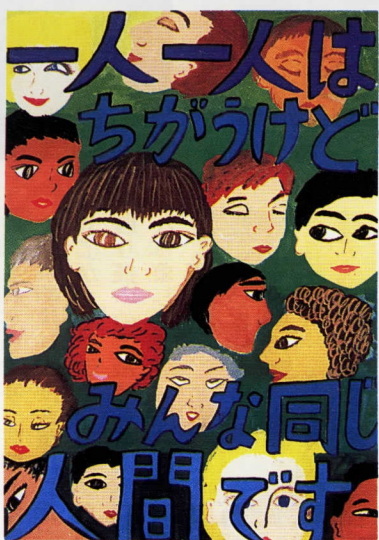
昭和23年12月10日、国際連合総会で世界人権宣言が採択され、毎年この日を「人権デー」、12月4日から10日までを「人権週間」としました。今年になって起きたいろいろな事件などから、改めて「人権」について考えてみませんか。

また、本市では法務大臣から委嘱された13人の人権擁護委員が、基本的人権を守るために活躍しています。名誉き損やプライバシーの侵害などの人権問題について、自宅で相談に応じています。また、市民相談室でも毎月第2・4火曜日に相談窓口を設けています。一人で悩まずにご相談ください。

人権擁護委員は次の方々です。

- 神野一江(永塚302-42) ☎④1422
- 鈴木洋子(早川766-24) ☎④181
- 柳川宣枝(本町3-3-12) ☎④0538
- 加藤義七(城山3-12-15) ☎④29309
- 古澤昭二(蓮正寺439-36) ☎④2939
- 小澤卓二(中村原369-43) ☎④0183
- 小川迪雄(城山1-23-2) ☎④1443
- 穂谷野賢治(南鴨宮1-5-37) ☎④7697
- 竹井貞雄(久野369-34) ☎④570
- 鈿持安男(曾比2375-36) ☎④0193
- 問い合わせ 市民相談室 ☎③1383

人権ポスター 金賞に角谷晴子さん



金賞受賞の角谷さん(国府津小4年)の作品

市人権擁護委員会の主催で、国府津・新玉・山王・富水の4小学校の児童による人権ポスターコンクールが行われました。お互いに相手の立場を思いやることの大切さを、よく理解した作品が263点寄せられました。入賞者は次のとおりです。

●金賞 角谷晴子さん
(国府津小学校4年)

●銀賞 須山 奏さん

- 銅賞 鈴木真結さん
(山王小学校6年)
- 銅賞 杉山精一さん
(新玉小学校5年)
- 銅賞 富水小学校6年
入賞作品は約70点を12月4日(月)から8日(金)まで、市役所2階の広報展示ロビーに展示します。
- 問い合わせ 市民相談室 ☎③1383

戸籍手数料が 変わります

平成8年1月1日から



	改定前	改定後
戸籍謄本・抄本	400円	450円
除籍謄本・抄本	700円	750円
戸籍記載事項証明	300円	350円
除籍記載事項証明	400円	450円
受理証明書	300円	350円
婚姻届等の受理証明書(上質紙)	1300円	1400円
届書の閲覧(利害関係人で特別の理由がある場合に限る)	300円	350円

国の政令改正で、戸籍謄本、抄本などの交付手数料が、1月1日から表のとおり変わります。

市民生活ガイドブック33ページの証明手数料のうち、戸籍関係(戸籍の謄本・抄本、除籍・改製原戸籍の謄本・抄本、戸籍記載事項証明、除籍記載事項証明、戸籍の届出の受理証明)が変わりますので、ご注意ください。

●問い合わせ 戸籍住民課
☎③1391

市駅伝競走大会

7区間33・8キロの熱戦

力走する地区代表選手に、皆さんの温かい応援とご協力を。

●日時 平成8年1月14日(日)午前9時市役所スタート

●コースと通過予定時刻

①第1区(5km) 市役所→《国安通り》→三の丸前左折→《お堀端通り》→ナックビル前右折→七枝橋信号左折→新玉小前→若子橋→寿町2丁目信号右折→町田小学校前(9時15分ごろ)

②第2区(3・1km) 町田小学校前→栄橋東信号左折→終末処理場入口信号右折→県小田原土木事務所→城東高校前信号左折→酒匂橋→《国道1号》→酒匂小学校前(9時25分ごろ)

③第3区(4・3km) 酒匂小学校前→《国道1号》→親木橋→前川橋支所前(9時38分ごろ)

④第4区(3・8km) 橋支所前→小竹→坂呂橋交差点左折→明沢児童館前(9時50分ごろ)

⑤第5区(6・6km) 明沢児童館前→《広域農道》→田島石橋交差点右折→《県



- ⑥第6区(5・9km) 市農協下曾我支店前→中河原信号左折→水道道→曾我ガイデンセンター→右折→小田原球場→根本商店前右折→下大井交差点→報徳橋→尊徳記念館前(10時29分ごろ)
 - ⑦第7区(5・1km) 尊徳記念館前→螢田駅前→狩川橋→扇町5丁目交差点右折→上多古信号左折→五百羅漢踏切→《県道小田原山北線》→山神神社左折→久野坂下交差点→久野川橋→市役所(10時45分ごろ)
- ※事故防止のため、車での応援はご遠慮ください。
- 問い合わせ 体育課 ☎③1733

野菜の即売会



新鮮で安全な野菜をどうぞ

野菜の即売会を開きます。新鮮で安全な野菜と、毎回好評の手作りみそ・漬物などを用意して、皆さんのご来場をお待ちしています。

●日時 12月18日(月)午前10時から(売り切れ次第終了)

●場所 市民会館ロビー

●問い合わせ 消費者の会事務局(市民生活課内) ☎③1396

壁を乗り越え共生 社会の一員として

障害を持つ人々の自立を支援する「地域作業所」や「生活ホーム」を知っていますか？ 市内各地、あなたの家の近くにもきっとあるでしょう。そこでは、障害を持つ人々が生活訓練や作業訓練を通して、自立した生活を営もうとがんばっています。そして、地域社会の一員として、自信と誇りを持って生きようと努力しています。障害を持つ人々も、同じ社会に生きる「お隣りさん」。ちょっとのぞいてみましょう。

壁を取り払おう

あなたの心の中に、障害者に対する偏見や誤解は、残っていませんか？ 12月9日は「障害者の日」。福祉団体や障害者本人の長年の努力のかいもあって、あからさまな差別や中傷は確かに少なくなりました。そして、障害者の自立と社会参加も着実に進んでいます。

「地域作業所」や「生活ホーム」は、障害者が地域社会の中に自信と生きがいを持って生きていこうとする、まさにその最前線です。ハンディを乗り越え、社会の一員として生きようとする勇氣。地域社会の中に、こうした勇氣にこたえるだけの理解と支援は足りているでしょうか。一人ひとりの心の中に、障害者との間の「壁」が残されていないでしょうか。障害を持つ人と共生する温かい地域社会。それは、あなたの考え次第でつく



地域作業所って何？

企業などに勤めることが難しい障害者の働く場として、障害者団体や社会福祉法人などが設置・運営しています。市内に8か所あり、部品の組立てから手作りにはがきまで、それぞれに特色のある仕事をしています。共通しているのは、どの作業所も明るく、通う所員が皆、生き生きしているということです。

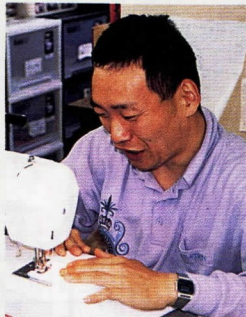
生活ホームって何？

知的に障害のある人が、「できることは自分でしよう」と、地域で共同生活をしているところです。多くの皆さんは、ここから職場や作業所などに通います。日ごろできないことは、世話人に手伝ってもらいます。失敗もありますが、自立に向けて地域に一歩踏み出した生活の場所です。

自主製品で個性を伸ばす ありんこホーム作業所



ありんこホーム作業所の特徴は、企業などからの作業を受注するのではなく、オリジナルの自主製品を考えて作っていること。所員、職員、家族、ボランティアが力を合わせて再生はがきや、ふきん、ぞうきん、刺子などを作っています。



それぞれが得意なことを

例えば、再生はがき。できあがるまでに18もの工程があります。牛乳パックを切り、薄いビニールをはがし、お湯で煮て、細かくちぎって……一人ひとりがそれぞれの得意な作業をコツコツとこなします。仕上げの紙漉きは、経験と技術が必要な難しい工程。これは、職員やボランティア

ありんこホーム運営主体
肢体不自由児者父母の会会長
橋山きみ子さん



に担当してもらいますが、できあがったはがきには、全員の誇りが込められています。自主製品作りは、自信とやりがいを与えてくれました。

製品は、バザーや夏祭りなどで販売します。県立生命の星・地球博物館内の「ともしびショップ」や、生きがいふれあいセンターいそしぎにも並べられています。既製品にはない手作りの良さが口コミで広がって、商店会などから取り扱いの依頼もくるようになりました。今、販路は自然に広がり始め、北海道にまで及んでいます。

広がる活動の輪

こんなありんこホームの活動が、地域を越えて共感を呼んでいます。地元自治会との協力関係はもとより、カラオケ指導に訪れてくれる方、製品を通じて仲間になったりサイクル団体、学校のPTA……いろいろな方面からいろいろな支援や協力が寄せられています。人が人を呼び、心が心を呼んでいます。ありんこホームとそれを取り巻く人々との「共生」の輪が、どんどん広がっています。



ありんこオリジナル製品の数々

親子できこりになろう いこいの森で林業体験

「林業」って、どんな仕事をするのでしょうか。お子さんに教えられる機会も少なくなっています。親子一緒に「きこり」を体験してみませんか。森林の役割や楽しさ、そして林業の大切さを肌で感じてみてください。

●日時 1月15日(月)午前10時～午後2時
●場所 いこいの森
●対象 小学生以上の児童

とその親50組100人(申し込み先着順)

●内容
・枝打ち作業の体験
・シイタケのほだ木作り
●参加費 無料(昼食は用意します)
●申し込み いこいの森総合案内 ☎3785 (12月23日(土)まで) (月曜日と祝祭日の翌日はお休み)



特産の梅を生かして 梅干と梅料理のコンクール

梅干と梅料理のコンクールを開きます。自慢の料理を出品してください。入選作品は、梅の里センターに展示。優秀な作品は、3月中旬ごろに表彰します。応募は市内在住、在勤、在学の方に限ります。

●梅干コンクール
小田原の梅を天日干しした梅干を募集。応募量は一点につき450g。漬物業者の方はご遠慮ください。

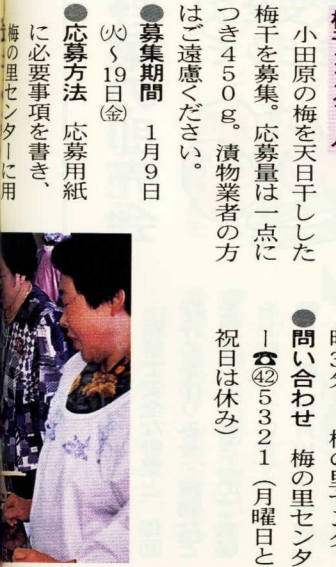
●募集期間 1月9日(火)～19日(金)

●応募方法 応募用紙に必要事項を書いて、梅の里センターに提出

●搬入 2月24日(土)午前11時～正午(展示用のほか試食用も用意)

●審査 2月24日(土)午後1時30分、梅の里センター

●問い合わせ 梅の里センター ☎5321 (月曜日と祝日は休み)



プロ意識は人一倍 地域作業所アークスカじか



今年4月にオープンしたアークスカじかは、卸商業団地の中にあります。他の作業所とは違った仕事場的な雰囲気の特徴です。それでも、隣近所の企業の人たちの中には、明るく声をかけてくれる方も多く、「仕事を通して社会参加する」という意識が、所員の生きがいや誇りにつながっているようです。

多くの人の集う場所に 地域作業所わかば会



仕事を受注している会社のそばなので、休憩時間などに社員が立ち寄ることもしばしば。所員と一緒にお茶を飲んだり、雑談したりしているようすは、とてもなごやかです。作業所のオープンな雰囲気づくりに努めているからでしょう、自然な交流が生まれています。

うれしい近所付き合い 地域作業所ゆう



この地に開所してから、まだ2年ほど。近所の方が花を届けてくれたり、地域の情報を教えてくれたりと、何気ない交流がとてもうれしく感じられるとか。今のところ、作業所のスペースが狭くて、せっかくボランティアの申し出があっても、断らなければならないのが残念だそうです。

ハンデは 地域社会

身近な地域作業所・生活ホーム



だれにでも良いところや、得意なことがあります。大切に

中心街で明るく生活 地域作業所かもめの家

まちの中心地で明るく生活しているところ、国道沿いに開所しました。近所の商店の人たちとも、明るくあいさつを交わします。隣の豆腐屋さんから、所員に傘を貸してもらったと聞いたときは、職員全員がびっくり。初め他人と話すことのできなかつた所員が、いつの間にか地域社会の一員になっていったのです。あいさつだけで、明るい人の輪ができるんですね。

十字地区ボランティア協会会長 太田里子さん



「かもめの家」からの依頼を受けて、十字地区のボランティアが作業所に伺うように



になりました。この仕事のお話をいただくまでは、作業所があることは知っていたのですが、どのように関わりたいか、どのようにかを考えていたんです。今では、毎月10日と20日に、3人ずつが作業に出ています。障害者との接点をどのように作るかが、温かいまちづくりのポイントだと思います。

地域に自然体で生きる 生活ホーム永塚寮

このような施設が地域に根をおろすということは、新しいまちに引越したときと同じ、と職員の方は話してくれました。自立に向けて地域に踏み出したのですから、周囲に特別な扱いを求めないというの大切なことなのです。自然な近所付き合いの中で、お互いのことを知り、良い関係を築いていきたい。そんな雰囲気を感じられました。

大きな家族のように 四恩工芸所・生活ホーム



地区の夏まつりに参加

四恩工芸所は、この地での活動が長く、保育園の隣に位置することもある。地域の中にごく自然に存在しています。職員も隣近所の方が多く、それぞれの家族の延長のように所員に接しています。障害者の施設であることを特に意識せず、地域社会のルールを守ること、そして自分たちがどんな人間なのか、何をしているのかということ、近所の人々に知ってもらうことに気を配ってきたそうです。

問い合わせ 障害福祉課 ☎33-1467

第43回市民劇場 南こうせつコンサート



この公演は「小田原ふるさと文化基金」から生じる利子を活用して開かれます。

●日時 2月23日(金)午後6時30分開演
●会場 市民会館大ホール
●入場料 5000円(全席指定)
●前売り 市民会館事務室、志澤デパートチケットセゾン、おだちかインフォメーションで好評発売中(1人1回5枚まで)
●問い合わせ 市民会館 ☎22-7146

小田原城天守閣から 初日の出を見よう



商工会議所青年部は、元旦の恒例行事「お城から初日の出を見る会」を開きます。

●日時 1月1日(月) 午前6時30分～8時30分(雨天決行)
●会場 小田原城天守閣
●定員 100人
●申し込み 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて12月13日(水)までに送りください。小学生以下は保護者同伴で、はがき1枚で2人まで入場可。定員を超えたときは抽選。

●申し込み 〒250 小田原市城内1-21 商工会議所青年部事務局 (☎23-1811)

きらめき情報

人口 200,093人
世帯数 67,637世帯
(9月1日現在)

CITY INFORMATION

市民の皆さんからの情報も掲載しています。
問い合わせ 広報広聴課 ☎33-1261

お知らせ

住宅用地の申告は 1月22日までに

住宅の敷地になっている土地(住宅用地)と、それ以外の土地では固定資産税の計算方法が違います。次にあてはまる方は1月22日までに住宅用地の申告をしてください。申告用紙は資産税課(市役所2階)にあります。

①平成8年1月1日現在、市内に住宅用地をもつ方。ただし、今までに住宅用地の申告をし、内容に変更のない方は、申告の必要がありません。
②平成7年1月1日現在住宅用地だったが、平成8年1月1日現在住宅用地でない土地をお持ちの方。

③市内に住宅用地をもち、平成8年1月1日現在の同一画地内の住宅戸数が平成7年1月1日現在と違う方。
問い合わせ▽資産税課 ☎33-1365

早めに申請を 不動産の変更届

田畑、山林を宅地などに地目変更したときや、家屋の新築、増

ます。問い合わせ▽神奈川労働基準局賃金課 ☎045(211)7354、小田原労働基準監督署 ☎271511

数料・環境総務課 ☎33-1476
国民健康保険料・保険年金課 ☎33-1845
国民年金保険料・保険年金課 ☎33-1867
住宅使用料・建築課 ☎33-1553
水洗便所改造資金貸付金返還金・下水道総務課 ☎33-1616

連絡先▽資産税課 ☎33-1371

募集

市立病院臨時職員

職種は看護婦、准看護婦、薬剤師、臨床検査技師。勤務時間は午前8時30分～午後5時、看護婦の夜間勤務専門(病棟)「準夜勤午後4時～午前0時30分・深夜勤務午前0時～8時30分」(応相談)。賃金は市立病院の基準による。問い合わせ▽病院総務課 ☎33-1755内線604

市長が高齢者を訪問

11月13日、市長が田中コウさん(100歳・本町在住)と石田イサラさん(100歳・国府津在住)を訪ね、祝状と祝い金・花束を贈り、長寿を祝いました。問い合わせ▽高齢福祉課 ☎33-1841



11月1日号の広報おだわらでお知らせしました酒匂川流域下水道と小田原都市計画下水道第2号公共下水道(左岸処理区)の下水道計画案の縦覧期間が次のとおり変わりました。縦覧期間(11月27日(月)～12月11日(月)休日を除く)が12月5日(火)～19日(土)になります。縦覧場所 市役所6階都市計画課(酒匂川流域下水道については、神奈川県都市計画課でも縦覧できます) 問い合わせ▽都市計画課 ☎33-1571

下水道計画案の縦覧期間の変更

育児サークル キャンディーハウス

一緒に活動しませんか。月2回保健センターやいきがふれあいセンターいそぎで。会費は月300円。申し込み▽樋山 ☎490043

働くお母さんへの メッセージ

女性の社会参加と子育ての両立をテーマに活動する「おだわら輝く女性のネットワーク」で、仕事をされているお母さんへの、子供たちからのメッセージ(手紙、作文、絵、詩など)を募集。作品(メッセージ)に住所、氏名、年齢、性別をつけて〒2500小田原市荻窪300小田原市役所女性行政室「働くお母さんへのメッセージ」係までお送りください。締め切りは1月5日(金)。

建物を取り壊した方へ

平成7年1月以後おもちの建物(車庫や倉庫を含む)を取り壊したときには、翌年度から固定資産税と都市計画税が変わります。資産税課までご連絡ください。

なお、メッセージは2月に開催予定の市民フォーラムで発表。また、応募の方には記念品を送ります。問い合わせ▽女性行政室 ☎33-1725

真鶴半島駅伝大会 参加チーム

大会は1月7日(日)午前7時30分に集合し、真鶴半島内を会場に開催。一般男子の部は、下郡3町対抗・実業団・高校男子。一般女子の部は、実業団・高校女子。申し込みは、監督1人・選手6人・補欠2人でチームを編成し、12月20日までに申込書と参加費2000円を提出。なお、高校男子と女子チームは参加費不要。申し込み▽駅伝実行委員会(真鶴町教育委員会内) ☎1131内線436

小さな音楽家たちの コンサート出演者

ピアノやリコーダーでのコンサート出演者を募集。オーディションは1月21日(日)午前10時から、サロン遊(市民会館前)で。申し込みは1月10日(水)まで。課題曲はリコーダーがアルト笛で自由曲を1曲。ピアノはバイエル程度・ツェルニー30番程度・ツェルニー40番程度で課題曲が違います。なお、コンサートは7月19日(金)市民会館大ホールで。問い合わせ▽園田 ☎33-3373

こゆるぎ川柳

お互いに 気づかぬふりのバーゲン場 豊作の秋に酷なるダイエツト 食い道楽生きる幸せ胃と共に 馴れているつもりで 抱いた子に泣かれ 防災の手綱を締めよ城下町 引き出物 やつと目の目を見るバザー

作品募集中

〒2500小田原市荻窪300
小田原市役所広報広聴課川柳係

うめつ子通信 このまち発見

森戸川



国府津小学校6年 駒井 しょう子

私たちの通学路の途中には、川幅7、8メートルの森戸川という川があります。春になるとカモの親子がたくさんいます。でも川が海に流れ込む所には、ごみがたくさん流れ着いてきます。発泡スチロールの空箱、空き缶、お菓子のから、それにまだ遊べるボール。こんなにたくさんのは、いったい誰が捨てるのでしょうか。

今より少しでも、森戸川をきれいにしようという私たち一人ひとりの気持ちがあれば、森戸川は、もっと魚の住み良い所になると思います。そしていつまでも、みんなが楽しく遊べる所であってほしいと思います。

12月 市民相談

●問い合わせ 市民相談室 ☎33-1383

内容	期 日
①一般相談	休日を除く毎日
②法律相談(予約制)	6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水)
③登記相談	14日(木)
④税務相談	19日(火)
⑤宅地建物取引相談	28日(木)
⑥防災相談(予約制)	18日(月)
⑦心配ごと相談	11日(月)・25日(月)
⑧人権擁護相談	5日(火)・26日(火)
⑨行政苦情相談	21日(木)
⑩教育相談	1日(金)・15日(火)
⑪消費生活相談	1日(金)・8日(金)・15日(金)・22日(金)

時 間: ①午前9時～午後4時
②～⑥午後1時30分～3時30分
⑦午前10時～午後3時
⑧午後1時～3時
⑨午後1時～4時
⑩～⑪午前9時～午後4時

ホット・ボイス

免除制度があります 国民年金保険料

老齢基礎年金を受けるには、保険料納入期間が25年以上必要です。もし、保険料の納め忘れが続くと、老後の生活を保障する老齢基礎年金が減らされるだけでなく、受けられなくなることもあります。現在、病気や失業などで年

金の保険料を納めるのが難しい方は未納のままにせず、免除制度がありますのでご相談ください。免除期間中は保険料を納めているものとして年数を計算します。また、経済的に余裕ができたときに10年前の分まで保険料を納めることもできます。

●問い合わせ 保険年金課 ☎33-1867

ひとり親家庭等医療費 助成制度の医療証更新

この制度は、ひとり親家庭の方などが、病院などで支払う健康保険の自己負担額を助成するものです。

現在交付されているこの制度の医療証は、有効期限が12月31日までです。医療証をお持ちの方で、引き続き助成の対象になる方には、市から新しい医療証を送ります。

上記以外で次の条件に当てはまる方は、お申し出ください。なお、年齢制限、所得制限があります。

1 ひとり親家庭の父または母と児童

※ひとり親とは、次のいずれか一つに当てはまる児童を監護する父または母です。

- ①父または母が死亡した児童
- ②父母が婚姻を解消した児童
- ③父または母が中等度以上の障害の状態にある児童
- ④父または母の生死が明らかでない児童
- ⑤父または母が引き続き1年以上遺棄している児童
- ⑥父または母が法令により1年以上拘禁されている児童

⑦母が婚姻せず生んだ児童（父から認知された児童を除く）

2 養育者家庭の養育者と児童

※養育者とは次の児童と同居して、これを監護し、生計を維持するもので、児童福祉法に定められている里親以外の方です。

- ①父母が死亡した児童
- ②父母が監護しない前記1の①～⑦の児童

○年齢制限

児童は、満18歳になった日以後の最初の3月31日までが対象。ただし、一定の障害にあるときや、高校に在学しているときは、20歳未満まで。

○所得制限

ひとり親などの所得が一定額を超えていると助成の対象になりません。例えば、平成8年1月から助成を受けようとしても、扶養親族が2人で、平成6年中の所得が303万8000円以上だと、助成の対象になりません。

●申請・問い合わせ 保険年金課 ☎33-1844

届いていますか 国民健康保険証

国民健康保険の保険証が、10月1日から新しくなりました。新しい保険証は、一般被保険者があさぎ色（薄い青色）、退職被保険者が桜色（薄いピンク）です。

ご協力ください 年末たすけあい運動

12月1日から「年末たすけあい運動」。この運動は、生活に困っている方などに明るい

古い保険証（藤色・オレンジ色の保険証）は、有効期限が過ぎていて使えません。

新しい保険証がまだ届いていない方はすぐに、連絡してください。

●連絡先 保険年金課 ☎33-1845

正月を迎えていただこうと義援金を募ります。

皆さんの温かい心をお寄せください。

●問い合わせ 共同募金会小田原市支会 ☎35-4000

働く人のメンタルヘルス相談
県が、横浜労働センターと厚木労働センターに開設。相談日は、横浜労働センターで火曜日と木曜日の午後1時30分～4時30分、厚木労働センターで第2・4金曜日の午後1時30分～4時30分。相談は無料。申し込みは、各相談室に電話で予約。問い合わせ▽横浜労働センター ☎045(6

高年齢者職業相談室
おおむね55歳以上の方への職業相談・紹介と、高齢者を雇おうとする方への雇用相談です。無料。問い合わせ▽高年齢者職業相談室 ☎1186

相談

・学校・学年・クラス・住所・名前を書いて12月22日までに送ってください。応募先▽〒250小田原市荻窪300少年少女オアシスセンター事務局（青少年課内） ☎331723

介護の相談は

在宅介護支援センターへ

市の在宅老人福祉サービスの案内・申請代行、お年寄りの介護者からの各種相談（24時間対応）をしています。申し込み▽西湘老人ホーム（早川853 ☎241181）②ルビーホーム（曾我光海2-1 ☎21278）③潤生園（六部377 ☎39500）

発表

中学生の主張発表

日常生活や学校、団体生活などで感じていることを、中学生が自らの声で発表。12月16日（午後1時30分）から、市民会館大ホールで。問い合わせ▽青少年課 ☎331723

県西部地区障害者作品展

12月7日（木）午後1時30分～5時、8日（金）午前9時～午後5時、9

33) 6110、厚木労働センター ☎0462 6211

ハーブコンサート

12月14日（木）午後6時30分開演。ウイング小田原で。演奏はハービスト竹之上幸子さん。会費2500円。問い合わせ▽長田 ☎491871

小田原室内合奏団 発足コンサート

12月22日（金）午後7時開演。市民会館大ホールで。曲目はコレリ「クリスマスコンチェルト」、ヴィヴァルディ「しきひわ」など。S席4000円、A席3000円、B席2000円。問い合わせ▽井上楽器 ☎240515

表彰・結果

小さな親切運動 ポスターコンクール

9月26日（火）審査会が行われました。優秀賞は次のとおり。な

レクリエーションまつり

10月22日（日）にマイペースウォークが95と一緒に、旧城内スポーツレクリエーション広場で開催。ターゲットボードゴルフ、民謡、リズム体操などが行われ、約2000人が参加。この中のウォークラリー大会の成績は次のとおり。

- ①ふれあい城下町コース（約5キロ）優勝＝モンキーチーム（橋本涼子・石黒祐子・杉山圭、2

お、作品の展示を、1月4日（木）25日（木）に（仮称）川東タウンセンターで、1月27日（土）2月9日（金）に駅前ふらっとスポットで行います。

小学生の部 最優秀賞＝安藤美（酒匂4年）／優秀賞＝安藤絵理（酒匂3年）、山田美佳（三の丸4年）

中学生の部 最優秀賞＝岡田愛子（白鷗3年）／優秀賞＝鈴木富大（白鷗3年）、高橋裕佳（片浦2年）

西湘地区少年少女（中学生） 新人ソフトテニス大会

団体戦・少年の部2位＝城北中、個人戦・少年の部3位＝岡田・鈴木組（城北中）。問い合わせ▽体育課 ☎331733

県学校保健功労者と 交通安全優良学校

11月9日に横浜市開港記念会館で開かれた県学校保健安全研究会で、学校保健功労者と交通安全優良学校として、本市から次の方が表彰されました。学校保健功労者＝佐野雄之助（白山

位＝たか・けいすけチーム（石黒早樹・松本可央里、3位＝マンドリル（石黒大介・橋本博教・中野貴文）

②いい汗城山コース（約5キロ）優勝＝グリーンピース（杉山陽子・関野フミエ・杉山喬彦、2位＝銀座レディース（矢口正世・友田元子・斎藤加代、3位＝上府中ママさんB（鷺頭一・信田知英子・富田富子）。問い合わせ▽体育協会 ☎240343

講習・教室

世界の家庭料理教室

スイスの家庭料理を作ります。12月10日（日）午後1時～4時30分。中央公民館調理室で。参加費2500円。エプロン、ふきん、筆記用具、持ち帰り容器を持参。申し込み▽青年会議所・廣川 ☎331811

木造住宅耐震診断 技術者講習会

1月19日（金）午前10時～午後4時30分。市役所7階大会議室で。対象は、県内に在住・在勤の建築実務経験者など。受講申込書は建築指導課（市役所6階）にあります。問い合わせ▽建築指導課 ☎331433

市民の声の 直通便

こんにちは
市長さん

タウンセンターの利用を 規則で縛らないで

川東タウンセンターが完成するのを心待ちにしています。規則、規則で縛らずに、市民に開放的な場所にしてください。

お答え

市は、生涯学習活動など幅広い地域活動を支援するための中心的施設として、また、行政窓口機能を併せ持つ複合施設として、地域センターを市内の6つの地域に造る計画を進めています。

地域センターの第1号施設「（仮称）川東タウンセンターマロニエ」は、川東地域全体（酒匂川以東の中心施設として、また、だれもが気軽に利用できる施設として、平成8年1月の開館をめざし、準備を進めています。

開館後は、これまでとは異なった、新しい市民施設として、できるだけ開放的な運営をし、原則として飲食も自由にできるようにしたいと考えています。

このように、地域の皆さんが気軽に利用でき、文化活動・生涯学習活動の場、地域交流の場、地域振興の場として、より多くの人が集い、ふれあうことのできる施設運営をめざしていきます。

ご利用、申し込みなどについては、広報おだわら1月1日号をご覧ください。

●問い合わせ 地域づくり課 ☎331389

家族 きざきのぼる





お飾り教室と 餅つき大会

●日時 12月23日(祝)午後1時～4時

もうすぐ お正月

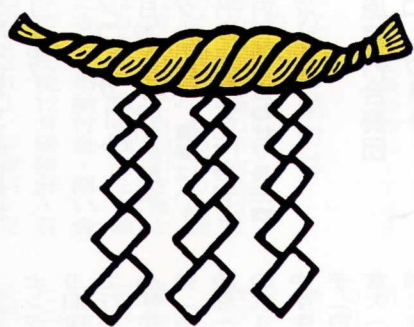


子供たちが楽しみにしているクリスマス、お正月。今年は手作りのケーキやしめ飾りに挑戦してみたいか、きつい思い出に残りますよ。

- 会場 尊徳記念館
- 対象 小学4年生以上
- 材料費 1000円
- 指導 横山利雄さんほか
- 申し込み 12月8日(金)から
- 直接または電話で尊徳記念館 ☎23381へ
- 日時 12月24日(日)午前9時30分～午後3時30分
- 会場 郷土文化館会議室
- 対象 小学校4年生以上
- 定員 申し込み先着順30名

しめ飾りを作ろう

自分で作った、しめ飾りでお正月を迎えてみませんか。



- 材料費 1000円
- 指導 穂谷野進平さん
- 持ち物 筆記用具、はさみ、昼食
- 申し込み 12月16日(土)から
- 直接または電話で郷土文化館 ☎231377

お菓子でつくる 童話の国の クリスマス

お菓子や野菜でメルヘンの世界を作りあげよう！

- 日時 12月17日(日)午前9時～午後12時30分
- 会場 かもめ図書館
- 対象 小学校1～3年生
- 定員 申し込み先着順20名
- 材料費 200円
- 持ち物 エプロン、三角巾、手ふき
- 講師 児童文化専門委員・小嶋慎子さん、酒井愛子さん

なかよし家族と クリスマス料理教室

- 日時 12月20日(水)午前10時～午後1時
- 会場 尊徳記念館2階



申し込み 12月3日(日)午前9時から、直接または電話で、市立図書館 ☎24105

●メニュー①切り株のクリスマスケーキ②鉄板一枚のかんたんキッシュ③あつさりシーフードサラダ

- 講師 高木雅子さん
- 定員 20名
- 対象 16歳以上の方
- 参加費 1000円(申し込み時に集め、原則としてお返ししません)
- 申し込み 12月9日(土)午後1時から直接、または往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、尊徳記念館(〒250小田原市栢山2065の1) ☎23381へ(12月8日必着)。受付時点で定員を越えるときは、はがきを含め、ただちに抽選します。

松永記念館 常設展

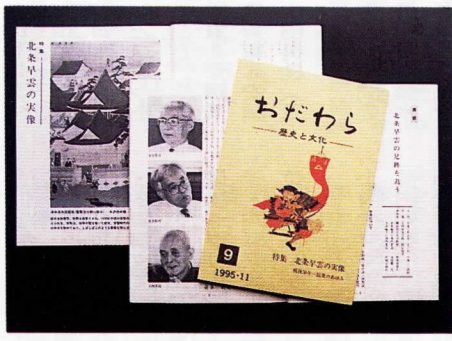
郷土文化館分館松永記念館展示室では、後期常設展「小暮次郎原画展」小田原町大震災・人車と軽便「を開いています。また別館中河一コレクション展示室も一部展示替えをいたしました。

- 開館日 3月30日(日)までの毎週、金曜日・土曜日・日曜日(祝祭日と年末を除く)
- 入館料 無料
- 問い合わせ 郷土文化館 ☎231377

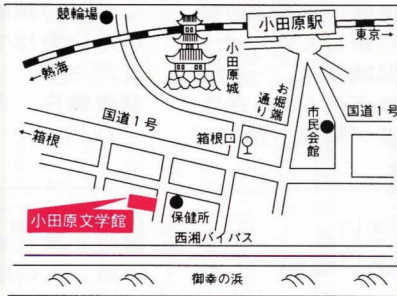


『おだわら・歴史と文化』 第9号発刊

今回は、北條早雲の小田原入城500年と戦後50年を記念した特集記事を組みました。専門家による対談や研究報告のほか、市民の戦争体験などを収録。お求めは小田原市公益事業協会売店または市内各書店で。価格 1100円(税込み) ●問い合わせ 市史編さん室 ☎238510



小田原文学館



- 開館時間 午前9時30分～午後4時(入館は3時30分まで)
- 休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始 ☎22981734

文学館は、過去に多くの著名な文学者が住んだゆかりの地、西海子小路(南町)に面しています。昭和12年にスペイン風様式で建てられた元宮内大臣田中光顕の別邸を、建物の保存を兼ねて活用しています。1階には北村透谷など小田原出身の文学者、2階には北原白秋など小田原に住



んだゆかりの文学者の原稿、書籍、遺品などの関連資料を展示しています。12月5日には、三好達治、坂口安吾を加え、展示替えをします。



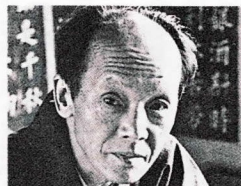
三好達治 1900～1964
『測量船』『神千里』
昭和14年鎌倉から早川口下河原(現南町4丁目)に、16年からは十字町(現南町2丁目)に住んだ。家から早川河口と荒久海岸への道は、達治の散歩道だった。



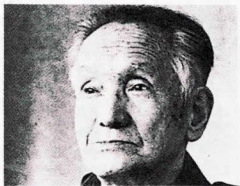
坂口安吾 1906～1955
『風博士』『白痴』
昭和11年、30歳のときから放浪生活を続け、三好達治の誘いで、昭和15年から1年間、早川口下河原(現南町4丁目)に住んだ。



北村透谷 1868～1894
『楚囚之吟』『蓬萊曲』
明治元年、万年4丁目(現南町3丁目)に生まれる。明治14年東京へ移住。明治26年に一時前川の長泉寺に間借りした。



川崎長太郎 1901～1985
『抹香町』『櫻木』
「裏通りを右に曲がれば、まっすぐ小田原へ出る。だだっぴろい端通である。」(遠雷)。ほとんどの作品の舞台は小田原で、街並のようすが目のあたりに浮かびあがってくる。



川崎長太郎 1901～1985
『抹香町』『櫻木』
「裏通りを右に曲がれば、まっすぐ小田原へ出る。だだっぴろい端通である。」(遠雷)。ほとんどの作品の舞台は小田原で、街並のようすが目のあたりに浮かびあがってくる。



北原白秋 1885～1942
『風博士』『白痴』
昭和11年、30歳のときから放浪生活を続け、三好達治の誘いで、昭和15年から1年間、早川口下河原(現南町4丁目)に住んだ。



谷崎潤一郎 1886～1965
『刺青』『春琴抄』
大正2年春から西海子小路に住んだが、翌年東京に帰り、大正8年に再び十字3丁目(現南町3丁目)に転居してきた。



村井弦斎 1863～1927
『食道楽』『釣道楽』
明治34年から4年間十字3丁目(現南町2丁目)に住み、釣り通、食通として知られ、早川と酒匂川の鮎の食いなどを描いた『食道楽』は報知新聞に連載され好評を得る。